

府議会5月定例会

G20サミット首脳会議の準備費など 4億1,500万円の補正予算案を可決

大阪府議会5月定例会は、2019年G20大阪サミット関連の補正予算案をはじめ条例案や人事案件など、24議案等を可決・同意し6月8日に閉会しました。

また、この議会では正副議長や8常任委員会の正副委員長及び委員などの選任が行われ、新議長に維新府議団の岩木均議員が就任しました。大阪府議会は、岩木議長のもとにおける本年度の審議体制により、今後活発な議論が展開されることとなります。



松井知事と岩木議長

補正予算の概要

G20サミット首脳会議の警護警備対策及び交通対策費 **3億7,425万円** 民泊対策の推進 **4,098万円**

大阪で開催される2019年G20サミット首脳会議の概要

日本で初めて開催される世界規模の最も重要な国際会議

- 「金融・世界経済に関する首脳会合」が正式名称。金融サミットとも呼ばれる。
- 開催日程 2019年6月28日・29日の2日間 ■会場 インテックス大阪(大阪市住之江区)
- 参加国 G7(仏・米・英・独・日・伊・加・欧州連合(EU))に加え、露・中・印・ブラジル・メキシコ・南ア・豪・韓・インドネシア・サウジアラビア・トルコ・アルゼンチン(メンバー国以外にも、招待国や国際機関などが参加)

大阪・関西の強みや魅力を世界に向けて発信、大阪を世界に知らしめる絶好の機会となる。また、大きな経済効果が期待でき関西経済活性化の弾みにもなる。

大阪都構想 4特別区案で議論

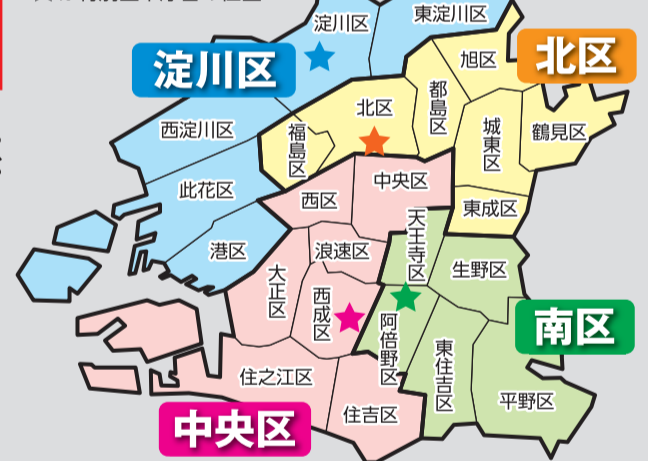
大阪都構想について議論する法定協議会は、2月22日、大阪市内24行政区を4つの特別区に再編する案に絞り込み、議論を進めることを決めました。また、4月6日には、大阪府・市が4特別区の名称や本庁舎の位置の案を提示しました

大阪都構想の今後の議論

- 特別区の名称、特別区本庁舎の位置、区議会議員の定数、特別区設置日などの議論を経て、大阪都構想の制度設計案(特別区設置協定書)が決定。
- 同協定書について、大阪府・市両議会で議決された後60日以内に大阪市で住民投票を実施。

特別区の区割りと名称案

★は特別区本庁舎の位置



これが維新の“身を切る改革”

議員報酬と府議定数削減で、45億円を削減しました。

議員報酬30%カットで 議員定数21人削減で
全国最低報酬額!! **他の議会ではできない大幅削減**
26億3800万円 **18億9300万円**

議会改革度調査2017ランキング

大阪府議会が都道府県で**全国1位**

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年実施の調査

2年連続

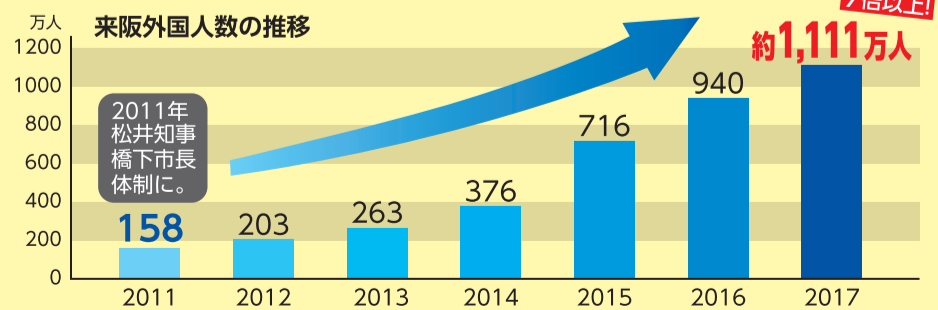
私立高校無償化さらに拡充

私立高校無償化は橋下・松井府政で、大阪が全国に先駆けて実施しました。本年度さらに拡充しました。

年収	保護者負担額		
	子供1人世帯	子供2人世帯	子供3人以上世帯
590万円未満	0円	0円	0円
590万円以上 800万円未満	20万円	10万円 (20万円)	0円 (10万円)
800万円以上 910万円未満	481,200円	30万円 (481,200円)	10万円 (20万円)

※授業料が年間60万円の学校の場合 ※下段()内は、2018年度までの額

大阪は 1,111万人 渡航先の伸び率で 世界一!!



2018.1.17 大阪観光局